

ちくや福祉だより

『支えあいましょう!これからの竹矢!』

発行：竹矢地区社会福祉協議会 〒690-0025 松江市八幡町 279-1 電話 37-0854 FAX37-2984

感染症と人権研修会報告

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」

～負のスパイラルを断ち切るために～

“ 賢く、優しく、強くなって、新型コロナウイルスに向き合う ”

先般 10月23日(金)に、竹矢地区人権教育推進協議会、竹矢公民館と共催して、新型コロナウイルス感染症と人権をテーマに研修会をおこないました。講師は、松江赤十字病院 感染症科 部長 成相昭吉先生です。前半は、感染症について、細菌とウイルスの違いや感染しておこる症状、感染予防について、後半は、この感染症に関連した人権にかかわる問題について、専門家の立場からお話いただきました。新型コロナウイルスは、2019年末から中国武漢市で発生したウイルス性肺炎について、病原体を調査していた中国の専門家チームが検出し確認がされたもので、ウイルスの名前が重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2 (SRAS-CoV-2 サーズコービーーツー) と言い、これによる病気の名前が COVID-19 (コビッドナインティーン) と言うそうです。このウイルスが肺の細胞に感染することで発症します。発症するのは感染してからすぐではなく、5日ほど経過するとかぜの症状や嗅覚味覚障害などが出るそうですが、大人でも80%は軽症で治癒し、子どもについては自然免疫が強く、また風邪の原因とされる4種類のコロナウイルスに感染しているために交差免疫を持っているなどかかりにくいとの事でした。しかし基礎疾患を持っている方や高齢者については、一部重症化する方もおられるので、感染予防が必要です。感染経路としては、せきやくしゃみで飛んだしぶきを直接吸い込んだり、手についたしぶきが触ったところに付いて、それを他の方が触って手に付きその手で顔や口を触ることで感染したりします。また、飛んだしぶきに含まれるウイルスが空気中に長く残りやすいという性質もあるそうです。感染を予防するには、3つの密『密閉・密集・密接』を避けること、適度な換気、手洗い、マスクの着用が重要となります。これからの季節、寒くなり暖房をつけることで換気が不十分になります。30分に一回は換気をして空気の流れをつくるのが大切です。またインフルエンザについても予防接種を受けて重症化しないように対策することも必要との事でした。後半では、人権



研修の様子

侵害について話され、この新型コロナウイルスがもたらすものとして、第 1 に病気そのもの、第 2 に不安と恐れ、第 3 に嫌悪・偏見・差別があります。ワクチンも薬もまだ開発されていないことから感染する恐怖や感染した人、それにかかわる家族や医療従事者などを遠ざけたり、差別するなどして信頼関係や社会のつながりが壊されていくことです。この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながるのです。この 3 つの感染症を防ぐために、『今いっそう、賢く、優しく、強く』なり、正しい情報を得るように努め、賢くウイルスを避けて、新型コロナウイルスから自分を、自分の隣にいる人を守りましょうと話されました。



研修会資料から抜粋

出前講座『めざせ！手洗いマスター！』

竹矢地区文化祭期間中の 11 月 6 日（金）に松江市社会福祉協議会出前講座『めざせ！手洗いマスター』を実施しました。この講座は、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症予防には手洗いが効果的であることから、手洗いチェッカーを使って正しい手洗い方法をマスターいただくことを目的に行いました。専用ローションを汚れに見立てて、普段通りに手洗いをおこなってもらい、洗った後の手を専用ライトにかざすと、汚れの残った部分を目で確認することができます。どの部分が洗い残しているかを確認することにより、手洗いの方法を改善します。

この出前講座は、11 月から実施されています。各町内・自治会でも実施してみたいでしょうか。



爪と皮膚の間や関節など
残りやすいようです。



専用ライトが付いたチェッカーで洗い残りを確認します。
残っているとところは白く見えます。